

事務事業評価シート（1 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係

事務事業 02748 環境保全協働推進事業

所属長名 原田 浩至

担当者 尾崎 弓貴

電話番号 0566 76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	001	環境保全協働推進事業			
事業期間	平成 8年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト	○	地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	多くの市民が
目的	ごみ減量に関心を持ち、ごみ減量を協働で行えるようになります。
手段	市民、事業者、行政との協働によるごみ減量、資源循環型社会の推進を図るため、ごみ減量推進委員会を開催し、ごみ減量施策の調査、検討、構築を行うとともに市民活動を促進するため市民活動支援プログラムの運用、説明会等による啓発活動を実施します。ごみの再資源化を促進するため集団資源回収に対する報償金事業を実施します。
事務内容	ごみ減量推進委員会の設置、運用を行います。 住民説明会を開催し、周知をはかります。 集団資源回収報償金を支払います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		28,936	23,434	34,070
事業費		25,786	20,914	30,770
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	25,786	20,914	30,770
人件費計		3,150	2,520	3,300
	正規（人）	0.50	0.40	0.50
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	住民説明会等によるごみ減量、分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動	市民活動支援プログラムによる活動	住民説明会等によるごみ減量、分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁
令和 3年 8月23日
10時20分58秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係
事務事業 02748 環境保全協働推進事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
住民説明会の参加人数	人	1,800.00 1,532.00	1,800.00 0.00	450.00 0.00
市民活動支援プログラムによる活動	回	40.00 30.00	40.00 13.00	20.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	他の事業主体が実施するものではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1
		1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	資源循環を目指し、団体による資源回収活動を支援しています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	2
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響により開催中止等ありました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	2
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	企業独自の資源回収を含めPRに努めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	多彩な支援プログラムを用意しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	コロナ禍の影響により、住民説明会は中止としました。 今後も個人の環境に対する意識が高められるように、今までの啓発活動を見直すとともに新たな啓発活動を実施できるよう検討、実施に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係

事務事業 02749 ごみ減量化推進事業

所属長名 原田 浩至

担当者 村中 佑伍

電話番号 0566 76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	002	ごみ減量化推進事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	啓発を受けた市民・子ども達が広く
目的	ごみ減量を始めたとした環境保全に対して関心をもつようになり、ごみ排出量が削減されます。
手段	環境学習をする小学 4 年生を対象に、施設見学とビデオによるごみ減量の必要性や環境教育のためのクリーンパス事業を実施するとともに、市民向けにはごみの発生抑制や分別の啓発、生ごみ処理機器の購入費用を補助しごみの減量と循環型社会を図る環境保全啓発活動を実施します。
事務内容	市指定ごみ袋の発注作成と生ごみ処理機の購入補助を行います。 住民説明会、クリーンパス事業、広報などによるごみ減量及び環境教育、環境保全の啓発を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		84,484	102,005	145,550
事業費	事業費	81,334	98,225	140,930
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	79,140	85,246	126,237
	一般財源	2,194	12,979	14,693
	人件費計	3,150	3,780	4,620
	正規（人）	0.50	0.60	0.70
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	・ 広報等による減量啓発 ・ 住民説明会等によるごみ減量啓発 ・ 生ごみ減量講習（市主催） ・ 生ごみ処理機器の購入補助 ・ 市内小学 4 年生を対象としたクリーンパスの実施	・ 広報等による減量啓発 ・ 生ごみ処理機器の購入補助	・ 広報等による減量啓発 ・ 住民説明会等によるごみ減量啓発 ・ 生ごみ処理機器の購入補助 ・ 市内小学 4 年生を対象としたクリーンパスの実施

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁
令和 3年 8月23日
10時20分58秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係
事務事業 02749 ごみ減量化推進事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
住民説明会（街頭、店舗）等によるごみ減量啓発	回	15.00 12.00	15.00 0.00	8.00 0.00
クリーンバスの実施	参加学校数	21.00 21.00	21.00 0.00	21.00 0.00
乾燥生ごみ交換重量	k g	4,000.00 4,032.00	4,000.00 4,150.00	4,000.00 0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1
理由	市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である		
3	有効性	目標に対する進捗状況	2
理由	市民のごみ減量に対する意識は維持されています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	2
理由	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
理由	効率が良くなるよう補助等を見直します。		
		環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	引き続き減量化の啓発を行っています。		

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	コロナ禍の影響により、住民説明会やクリーンバスは中止としました。 ごみ減量化については更なる市民協働の充実に努めるとともに、新たな事業展開を検討していきます。

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係
事務事業 02750 地域環境美化事業

所属長名 原田 浩至
担当者 尾崎 弓貴
電話番号 0566 76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	005	環境学習及び環境配慮行動の促進と支援			
事務事業	003	地域環境美化事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト	○	地方創生	
根拠法令等	安城市ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	広く市民が
目的	地域環境の美化のため自主的に清掃活動に参加するようになります。
手段	地域環境美化のため、アダプトプログラム制度の推進や地域クリーン推進員の養成を通じ、環境美化活動の啓発支援を行います。
事務内容	町内一斉清掃、アダプトプログラム、5 3 0 運動の活動支援を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		5,953	5,564	7,417
事業費	事業費	2,803	1,784	3,457
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,803	1,784	3,457
	人件費計	3,150	3,780	3,960
	正規（人）	0.50	0.60	0.60
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	町内一斉清掃、アダプトプログラム、5 3 0 運動などボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催、ポイ捨て等防止啓発キャンペーンの実施	町内一斉清掃、アダプトプログラム、5 3 0 運動などボランティア活動の募集及び啓発	町内一斉清掃、アダプトプログラム、5 3 0 運動などボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催、ポイ捨て等防止啓発キャンペーンの実施

事務事業評価シート（2 / 2）

6 頁
令和 3年 8月23日
10時20分58秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係
事務事業 02750 地域環境美化事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
アダプト団体登録数	団体数	56.00 55.00	55.00 64.00	64.00 0.00
「町を美しくする運動」活動実施数	回	200.00 203.00	200.00 93.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	環境美化のための活動を各団体が積極的に行っています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	コロナ禍の影響により開催中止等ありました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	効率的な事業展開を図るため検討します。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	きめ細かい対応を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	コロナ禍の影響により、清掃活動の回数は減少しています。 現事業の内容、関連性を精査しつつ、事業の統廃合を含め、効率的な事業展開を検討していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係

事務事業 02751 塵芥収集事業

所属長名 原田 浩至

担当者 杉本 浩基

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	003	塵芥収集事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量と適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを分別して出すことができるようになります。
手段	びん缶、ペットボトル等の収集を直営業務とし、可燃・不燃・容器包装プラごみ及び古紙古着の収集を委託業務としています。
事務内容	日常生活から出るごみ（可燃・不燃・容器包装プラごみ・資源ごみ）を収集しています。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		623,337	635,990	679,479
事業費	事業費	484,737	497,390	532,299
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	10,335	7,406	4,652
	一般財源	474,402	489,984	527,647
	人件費計	138,600	138,600	147,180
	正規（人）	22.00	22.00	22.30
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	可燃ごみ29,668t、不燃ごみ956t、容器包装プラごみ1,203t、缶360t、びん1,053t、古紙・古着1,051tを収集します。	可燃ごみ29,680t、不燃ごみ1,064t、容器包装プラごみ1,257t、缶355t、びん1,174t、古紙・古着897tを収集します。	可燃ごみ29,700t、不燃ごみ1,060t、容器包装プラごみ1,250t、缶355t、びん1,100t、古紙・古着950tを収集します。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02751 塵芥収集事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
容器包装プラスチック ごみの資源化率	%	95.00 97.17	95.00 99.04	95.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由		廃掃法に規定された市の責務を履行します。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由		家庭ごみを手軽に低廉に処分を求める意向が認められます。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由		目標を上回る成果を上げられました。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由		効率化に向けた収集体制の改編を令和３年度に実施します。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由		ごみ減量20%以降、先取り先進的な取り組みを行っています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	一般廃棄物の処理責任は法令に基づき、市にあるため、合理化かつ効率化を念頭に着実に遂行します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02752 不法投棄対策事業

所属長名 原田 浩至
担当者 杉浦 一美
電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	004	不法投棄対策事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量と適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	不法投棄された場所の近隣住民が
目的	不法投棄ごみのない快適な環境で生活できる。
手段	町内会への不法投棄防止用監視カメラの貸与事業、不法投棄パトロール業務及び不法投棄物の処分業務を実施します。
事務内容	監視カメラを設置して不法投棄の抑制を図るとともに、不法投棄され処理に困っている特定家電5品目、消火器及び自動車のタイヤ等を処理します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		7,740	5,870	6,449
事業費	事業費	6,480	4,610	5,129
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	1,029
	一般財源	6,480	4,610	4,100
	人件費計	1,260	1,260	1,320
	正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	監視カメラ21台を4ヶ月単位で設置を希望する町内会に貸出しを行います。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めます。	監視カメラ18台を6ヶ月単位で設置を希望する町内会に貸出しを行います。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めます。	監視カメラ16台を6ヶ月単位で設置を希望する町内会に貸出しを行います。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めます。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02752 不法投棄対策事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
家電 5 品目の不法投棄 台数（指定引取場所搬 入台数）	台	150.00 127.00	150.00 126.00	150.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		公共用地の管理責任に基づいて行います。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		良好な地域環境の維持と不法投棄抑止に寄与します。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		抑止効果が認められますが、新たな不法投棄が発生しています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		町内会との連携強化に努めています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		先進的な事業と認められます。				

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	一般廃棄物の処理責任は法令に基づき、市にあるため合理化かつ効率化を念頭に着実に遂行します。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係

事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

所属長名 原田 浩至

担当者 杉本 浩基

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	005	資源再生化事業（中間処理等事業）			
事業期間	平成 9年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量と適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	将来の市民が
目的	地球環境破壊や資源枯渇から救われる一助となります。
手段	ペットボトルは拠点回収し資源化センターにおいて、プラスチック製容器包装はごみステーションで収集し安城プラスチックリサイクルセンターで、それぞれ圧縮減容化処理します。これら中間処理したものは、資源リサイクル事業者により再生化しています。
事務内容	回収されたペットボトルや容器包装プラごみの資源化を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		99,778	103,957	102,324
事業費	事業費	97,258	101,437	100,344
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	5,322	9,650	9,601
	一般財源	91,936	91,787	90,743
	人件費計	2,520	2,520	1,980
	正規（人）	0.40	0.40	0.30
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	ペットボトル419t、容器包装プラごみ1,203tを収集、再生処理をします。	ペットボトル450t、容器包装プラごみ1,256tを収集、再生処理をします。	ペットボトル450t、容器包装プラごみ1,250tを収集、再生処理をします。

事務事業評価シート（2 / 2）

6 頁
令和 3 年 8 月 17 日
14 時 21 分 41 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
ペットボトルの選別処理量	t	488.00 419.00	460.00 450.00	450.00 0.00
容器包装プラスチックの圧縮梱包処理量	t	1,231.00 1,203.00	1,200.00 1,256.00	1,250.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		廃掃法、リサイクル法に規定された市の責務を履行します。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		資源ごみを手軽に低廉に処分を求める意向が認められます。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		2
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		コロナ下でペットボトル、容器包装プラ共に収集量は増加しました				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		資源の売却先など、経済性と適正処分の確保を心がけています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		同種事業の実施団体との情報交換に努めています。				

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	コロナ下のステイホームでペットボトル、容器包装プラスチック共に収集量は増加しています。今後も、持続可能な循環型社会の構築に資源再生の取り組みは欠かせないものと認識します。ただし経済性、効率性、省エネルギー化の観点と整合を図る必要があります。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

所属長名 原田 浩至
担当者 杉本 浩基
電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	006	リサイクルプラザ施設管理事業			
事業期間	平成10年度 ～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量と適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを適正に処理することができます。
手段	不燃ごみ、粗大ごみの破碎処理を行うとともに、資源物を抽出し再生、再利用を図り資源循環型社会形成に寄与します。
事務内容	市民が排出又は持ち込んだごみを受け入れ、適正に処理できるように施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		435,828	406,349	413,091
事業費	事業費	413,778	384,299	397,251
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	35,399	21,355	19,272
	一般財源	378,379	362,944	377,979
	人件費計	22,050	22,050	15,840
	正規（人）	3.50	3.50	2.40
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	不燃粗大ごみ3,666t びん・缶1,413tを破 砕・減容、分別し中間 処理を行います。	不燃粗大ごみ4,037t びん・缶1,571tを破 砕・減容、分別し中間 処理を行います。	不燃粗大ごみ4,100t びん・缶1,600tを破 砕・減容、分別し中間 処理を行います。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	廃清法、リサイクル法に規定された市の責任を履行します。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	資源ごみを手軽に、低廉に処分を求める意向が認められます。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	苦情は受けていません。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	苦情は受けていません。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	市民の搬入量に比べ、処理能力に大きな過不足は認められません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	持続可能な循環型社会の構築にごみ減量化、資源再生の取り組みは欠かせないものと認識します。 ただし経済性、効率性、省エネルギー化の観点と整合を図る必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係

事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

所属長名 原田 浩至

担当者 杉浦 一美

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	007	せん定枝リサイクルプラント事業			
事業期間	平成13年度 ～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量と適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	農業経営を行う市民や園芸を楽しむ市民が
目的	たい肥を利用した農業・園芸を行うことができるようになります。
手段	市民が搬入したせん定枝を粉砕し、醗酵たい肥化を行います。
事務内容	剪定した枝葉をごみとして焼却するのではなく、自然還元による資源循環のためたい肥を製造して市民等に配布します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		84,518	88,593	78,930
事業費	事業費	64,358	68,433	64,410
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	9,791	10,350	9,600
	一般財源	54,567	58,083	54,810
	人件費計	20,160	20,160	14,520
	正規（人）	3.20	3.20	2.20
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	せん定枝1,185tを処理、たい肥836tを配布します。	せん定枝1,188tを処理、たい肥825tを配布します。	せん定枝1,150tを処理、たい肥850tを配布します。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
剪定枝葉処理量	t	1,500.00 1,185.00	1,150.00 1,188.00	1,150.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市外の民間事業者へ処理委託の方途があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	たい肥の配布希望者が多く、常に抽選を要する状況です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	順調にたい肥の製造ができました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	合理性、経済性に留意しつつ、設備の適正運用に努めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	近隣自治体と比べ、取組の少ない先進的な事業と認められます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	持続可能な循環型社会の構築にバイオマスの資源化による活用は欠かせないものと認識します。 ただし経済性、効率性、省エネルギー化の観点と整合を図る必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度

進捗区分 2 次評価

所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係

事務事業 02756 最終処分場事業

所属長名 原田 浩至

担当者 杉浦 一美

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02 第8次安城市総合計画				
5 Kの分類	002 環境				
項目（施策）	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ減量の推進				
事務事業	008 最終処分場事業				
事業期間	平成21年度～令和11年度	21 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量と適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	排出した再利用・再資源化が困難なごみを埋立処分します。
手段	市内唯一の埋立最終処分場として、埋立量の極小化に留意しつつ、破碎した不燃残渣のみを埋立しています。
事務内容	リサイクルプラザから出る処分できない埋立ごみ（不燃残渣）の処分場です。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		37,325	78,726	88,339
事業費	事業費	31,655	73,056	81,739
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	31,655	73,056	81,739
	人件費計	5,670	5,670	6,600
	正規（人）	0.90	0.90	1.00
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	搬入見込み量649t（容量換算811m ³ ）の不燃残渣を埋立処分します。 。	搬入見込み量605t（容量換算756m ³ ）の不燃残渣を埋立処分します。 。藤井の浸出水処理施設を撤去していきます。 。	搬入見込み量650t（容量換算812m ³ ）の不燃残渣を埋立処分します。 。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02756 最終処分場事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
最終処分場埋立量	t	662.00 649.00	660.00 605.00	650.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		2
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		市域を越えて最終処分場を求めることは極めて困難です。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		中間処理残渣の発生は、一般家庭からの排出ごみによるものです。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		埋立量の抑制が図られています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		埋立処分場の新たな設置は、困難なため、長期供用に配慮します。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		ごみ処理に必要な最終処分場を備えています。				

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	新たな埋立処分場の設置は困難な状況であるため、今後も埋立量を抑制し長期間の供用を進めます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

13 頁
令和 3年 8月17日
14時21分41秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02757 資源リサイクル事業

所属長名 原田 浩至
担当者 手塚 勝之
電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	009	資源リサイクル事業			
事業期間	平成14年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量と適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	広く市民が
目的	ごみの再資源化に関心を持ち分別するようになります。
手段	市内 4 箇所のリサイクルステーションを設置し、運営をシルバー人材センターに業務委託を行い、市民の利便性に配慮し、資源ごみの分別促進を図ります。
事務内容	ごみの再資源化を促進するために、リサイクルステーションの設置、運営を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		32,242	48,002	35,236
事業費	事業費	27,202	44,222	28,636
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	14,173	7,627	3,150
	一般財源	13,029	36,595	25,486
	人件費計	5,040	3,780	6,600
	正規（人）	0.80	0.60	1.00
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	リサイクルステーション資源回収量2,852t、古紙・古着資源ステーション収集量1,056tをリサイクルします。	リサイクルステーション資源回収量2,901t、古紙・古着資源ステーション収集量1,000tをリサイクルします。令和 2 年度はエコらなどの舗装工事を計画しています。	リサイクルステーション資源回収量2,756t、古紙・古着資源ステーション収集量1,000tをリサイクルします。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係
事務事業 02757 資源リサイクル事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
リサイクルステーションの回収量	t	2,828.00 2,852.00	2,700.00 2,901.00	2,756.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市民主体の資源環境の取り組みを可視化できます。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	簡便で、時間的制約がほぼありません。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	コロナ下でステイホームのため、古紙が多く集まりました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	利用促進のため利便性の周知に努めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	近隣他市より比較的先進的に取り組んでいます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本市のこれまでの取り組みにより、市民のリサイクルに対する意識が向上しています。本事業は市民のニーズに即した環境施策です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業

所属長名 原田 浩至

担当者 宮本 宗明

電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	010	ごみ焼却施設管理事業			
事業期間	平成 9年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	可燃ごみを安心して処理できるようにするため
手段	ごみ焼却施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や計画的な工事を実施することで施設の健全性を維持します。
事務内容	収集などにより搬入された可燃ごみを適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		1,157,469	1,303,591	1,453,317
事業費	事業費	1,139,199	1,279,021	1,427,577
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	183,082	159,316	356,000
	一般財源	956,117	1,119,705	1,071,577
	人件費計	18,270	24,570	25,740
	正規（人）	2.90	3.90	3.90
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	可燃ごみ51,842tを焼却処理しました。	可燃ごみ50,006tを焼却処理しました。	可燃ごみ51,451tを焼却処理します。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
施設の故障による可燃ごみ搬入停止	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
法規制値を超える排気ガスの排出	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		一般廃棄物処理は、市で行う事業として定められています。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		ごみの焼却は、市民生活に必要な事業です。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		施設は故障もなく順調に稼働しています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		維持管理を委託し、整備計画など随時見直しを図っています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		近隣市と比較しても同水準です。				

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後も適切な保守管理及び計画的な工事を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業

所属長名 原田 浩至

担当者 宮本 宗明

電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	011	ごみ焼却灰処分事業			
事業期間	平成 9年度 ～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から名称変更しています。				
	・ ごみ焼却灰溶融化事業				

【事業分析】

対象	市が
目的	処分先の環境を阻害することなく、安定的に焼却灰を処理できるようにするため
手段	本市は、焼却灰の最終処分場を所有していないことから、発生した焼却灰全てを市外に運搬・処分しています。 処分先としましては、公益財団法人愛知臨海環境整備センター（アセック）や民間の最終処分事業者です。また、焼却灰の一部については再資源化処理としています。
事務内容	処分場を所管している相手方自治体と調和の協議を行い、安全かつ適正に処理を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト	事業費	154,407	181,198	204,217
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	151,257	178,048	200,917
	人件費計	3,150	3,150	3,300
	正規（人）	0.50	0.50	0.50
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	・ アセック埋立量 4,826.48 t	・ アセック埋立量 3,871.29 t	予定量 ・ アセック埋立量 3,900 t
	・ その他民間埋立量 400.02 t	・ その他民間埋立量 398.42 t	・ その他民間埋立量 400 t
	・ 再資源化量 1,595.72 t	・ 再資源化量 2,390.99 t	・ 再資源化量 2,400 t

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
焼却灰の処分先	箇所	3.00	5.00	5.00
		3.00	5.00	0.00
焼却灰の資源化率	%	19.40	29.09	30.45
		23.39	35.90	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	焼却後に発生する焼却灰は適正に処分する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	焼却灰の処分場を持たない自治体の市民にとって必要な事業です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	適正に灰処分を行い、リサイクル率の向上に努めています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	適正に灰処分を行い、リサイクル率の向上に努めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	独自の埋立処分場を持たない近隣市と同等の水準です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	災害時のリスク分散を考えた場合や現在委託する処分先も有限施設であるため、今後も処分先を検討する必要があります。また、環境負荷低減のための再資源化についても引き続き検討していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02760 し尿処理施設管理事業

所属長名 原田 浩至
担当者 丸毛 啓志
電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	012	し尿処理施設管理事業			
事業期間	昭和63年度 ～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	し尿汚泥、浄化槽汚泥を安心して処理できるようにするため
手段	し尿処理施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や施設整備を実施すること で、施設の健全性を維持します。
事務内容	収集搬入された生し尿や浄化槽汚泥等を適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		106,483	109,017	113,934
事業費	事業費	98,923	104,607	108,654
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	98,923	104,607	108,654
	人件費計	7,560	4,410	5,280
	正規（人）	1.20	0.70	0.80
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	生し尿1,960KL、浄化槽汚泥28,437KL、農業集落排水汚泥661KLを処理しました。	生し尿1,525KL、浄化槽汚泥29,462KL、農業集落排水汚泥736KLを処理しました。	生し尿1,441KL、浄化槽汚泥28,552KL、農業集落排水汚泥840KLを処理します。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02760 し尿処理施設管理事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
施設の故障によるし尿・浄化槽汚泥搬入停止	回	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
法条例規制値を超える放流水の排出	回	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】						
カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		一般廃棄物処理は、市で行う事業として定められています。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		し尿処理は、市民生活に必要な事業です。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		施設は、故障もなく順調に稼働しています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		維持管理を委託し、整備計画など随時見直しを図っています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		近隣市と比較しても同水準です。				

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後も適切な保守点検や施設整備を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係
事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

所属長名 原田 浩至
担当者 丸毛 啓志
電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	025	廃棄物処理施設整備事業			
事業期間	平成31年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成 3 1 年度より事務事業名を以下のとおり変更しています。 ・（旧称）ごみ焼却施設等整備事業 ・（改名）廃棄物処理施設整備事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	将来的に安心して廃棄物を処理できるようにするため
手段	愛知県ごみ処理広域化計画及び衣浦東部ごみ処理広域化計画にもとづく施設整備を進めます。
事務内容	施設整備に必要な各種計画の策定及び施設整備を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		13,540	25,300	67,683
事業費		9,130	18,370	61,083
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,130	18,370	61,083
人件費計		4,410	6,930	6,600
	正規（人）	0.70	1.10	1.00
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	ごみ焼却施設等整備事業より事務事業を引き継ぎ、安城市廃棄物処理施設整備基本構想の策定に着手しました。	安城市廃棄物処理施設整備基本構想を策定しました。	廃棄物処理各施設の整備計画の策定や一般廃棄物処理基本計画等の策定に着手しました。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係
事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
安城市廃棄物処理施設整備基本構想の策定（進捗率）	%	33.20 33.20	66.80 66.80	0.00 0.00
各施設整備計画等の策定（進捗率）	%	0.00 0.00	0.00 0.00	74.42 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		廃掃法で廃棄物処理施設は、市が設置することとなっています。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		市民生活において廃棄物処理は重要な事業です。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		計画的に事業を進めています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		業務を委託し、効率を図っています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		他自治体を参考に適切な時期に施設整備を行っていきます。				

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	廃棄物処理施設の老朽化に伴い、将来の施設整備に向けた具体的な検討や整理が必要であるため、各処理施設の整備計画の策定を進めます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。